
第1回 研究シーズオープンデータとシビックテック研究会
(LOD チャレンジデー in 名古屋 2015 プレイベント)
「研究シーズを身近な社会課題解決に活かす仕組みを考える」
開催のご案内

主催:名古屋工業大学 白松研究室
共催:名古屋工業大学研究協力会、産学官連携センター、
Code for Nagoya、LOD チャレンジ実行委員会

開催趣旨:

大学や研究機関が持つ研究シーズを、私達の生活に密着した様々な社会課題(たとえば介護、育児、医療など)の解決に活かす仕組みを考えていこうというイベントです。実際に課題を感じている人々と、貢献できそうな研究者をつなげる仕組みを作るために、みんなで社会課題のオープンデータを作り、それを各地の研究機関による研究シーズのオープンデータとうまくリンクさせることで、両者をつなぐ仕組みが作れないだろうか・・・という構想をご紹介します。

ところで、昨年頃から日本各地で、IT(特に Web やオープンデータ)を使って社会課題解決に挑戦する「シビックテック」と呼ばれる取り組みが盛んになっています。名古屋でも Code for Nagoya という組織が活動しており、「ハッカソン」「アイデアソン」と呼ばれる市民参加型の開発イベントを通じて、交通やバリアフリーといった社会課題に取り組んできました。

このように、社会的ニーズを踏まえて俯瞰的な視点から技術シーズを応用していく取り組みには、大学などの研究機関が大きく貢献できるはずですが、また、名工大では来年度から新しい「創造工学教育課程」を新設し、まさにそのような俯瞰的視点から新たな価値を創造できる技術者を育成しようとしています。

そこで本イベントでは、Code for Nagoya による取り組みや関連技術をご紹介します上で、大学の研究シーズを身近な社会課題とマッチングする仕組みを考えます。

(イベント終了後に懇親会も予定しています)

記

日時: 2015年9月8日(火) 13時30分~17時30分
場所:名古屋工業大学 4号館1階110 産学官交流スペース

プログラム(予定、変更の場合あり):

- 13:00 開場・受付
- 13:30-13:50 趣旨説明
- 13:50-14:10 Code for Nagoya の活動紹介
- 14:10-14:20 LOD チャレンジ Japan の紹介
- 14:20-15:00 関連技術やビジネスモデルキャンバス(BMC)の解説
- 15:00-16:50 アイデアワークショップ(アイデアソン)
 - ・生活に密着した社会課題やニーズの掘り起こし
 - ・「技術の宝庫」を使った研究シーズの探索
 - ・BMC に沿った事業化アイデアの創出
- 16:50-17:20 成果共有
- 17:20-17:30 LOD チャレンジデー in 名古屋 2015(10/24) のご案内

研究会参加費: 無料

懇親会参加費: 4000円(希望者のみ)

参加申込み先: E-mail でお申込みください。

E-mail: siramatu@nitech.ac.jp (白松)

※ 名古屋工業大学への案内地図および建物配置図は、<http://www.nitech.ac.jp/access/index.html> をご覧ください。

----- (お申し込みフォーム 送付先: siramatu@nitech.ac.jp) -----

名古屋工業大学 白松研究室宛

2015年9月8日の第1回研究シーズオープンデータとシビックテック研究会 (LOD チャレンジデー プレイベント)
「研究シーズを身近な社会課題解決に活かす仕組みを考える」に参加します。

ご所属:

お名前:

Email:

懇親会参加: 希望する/希望しない (不要な方を消して下さい。懇親会は参加費 4000 円です)